

令和3年度小平市立小平第二小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

身に付けておこななければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

全体の正答率は全国よりは1.3%高いが、都と比較すると2%低い。指導要領の内容としては「話すこと・聞くこと」はポイントが高いが、「読むこと」で都と全国に比べて低い。また、記述式の無回答が都は4.9%、全国は4.1%にとどまっているのに対し、本校は6.4%と高い値を示している。

課題

「読むこと」の内容としては、「文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける」「中心となる語や分を見付けて要約する」の項目が正答率で都の平均より下回っている。文章の内容を的確に押さえながら読む力を身に付けるとともに、記述式の無回答が多かったことから、要旨や自分の考えを分かりやすくまとめて書く力を高める指導が必要である。

学校で取り組む具体的な改善策

文章全体から内容や要旨を把握する指導を重ねるとともに、筆者の考えを指定し字数以内でまとめさせたり、叙述を基に筆者の思考に即して読み進め、叙述の効果や主題について考えさせたりする指導を重点に行う。また、記述式の問題に対する無回答率を減らすために、国語の授業では、自分の考えを書いて表現する学習を意図的に設定し、書く習慣を定着させる。

【算数】

状況の分析

全体の正答率は、全国平均とほぼ同じであるが、都との比較では、4%低い。指導要領の内容としては、概ね全国平均に近いが、「図形」では、9.6%低く、大きく下回った。また、記述式の正答率が全国平均の53%と比べると、46.2%にとどまり、大きな差があることが分かる。

課題

「図形」では、三角形や平行四辺形の面積の求め方に関する問題での正答率が低く、図形の面積の求め方に対する基本的な内容の理解が定着していない。また、記述式の問題では、すべて全国平均よりも低いことから、自分の考えをまとめて、表現する能力を高める指導が必要である。

学校で取り組む具体的な改善策

基礎・基本の問題を繰り返し行い、定着させ、理解を深めさせていくことが必要である。そのために、家庭学習等で既習事項を復習させる。毎時間の授業では、自分の考えを書かせたり、交流させたりする指導を行う。特に図形に関する内容は、理解の定着が十分でないことを踏まえ、授業の中で自力解決のプロセスに重点を置いたり、デジタル教科書を活用し、視覚的に分かりやすくしたりするなど、授業を工夫する。また、習熟度別指導の徹底を図り、個に合わせた、丁寧な指導を行う。

「自分にはよいところがある」の質問に対し、肯定的に捉えている児童は84.6%いて都や全国よりも大幅に上回っている。それと同じように将来の夢や目標、やり遂げよう、挑戦しようという気持ちがあり、都や全国より値が大きい。友達と協力することに肯定的な児童が多く、94.8%と都より2%上回っている。全くそうは思わないを選択する児童はゼロであった。「国語の勉強は好きだ」の項目は56.4%で、都の平均より3%下回るが、大切だと感じている割合は、96.1%と高い。

また、家庭学習の時間や読書量が都や全国平均より大幅に下回っている。

ほとんどの質問項目で肯定的な回答が多く、普段も意欲的で前向きな児童が多い。一方で、「家で自分で計画を立てて勉強している」や「家での学習・読書」では都や全国平均より下回る結果となっている。学習の大切さは理解しているものの、実際に主体的に学習に取り組む行動力・実践力を付けることが必要である。

学校で取り組む具体的な改善策

将来の夢や希望をもつことよさ、目標に向けて努力していく喜びについて、児童の前向きさを生かし、道徳、総合的な学習の時間、行事等を通して、さらに深めさせる。

学習において、辞書で調べる活動を取り入れることで、語彙力を養い、学びの幅を広げ質を高める。また、授業を問題解決的に進めることにより、学習の中で児童が自分の考えや意見を表現したり、交流し合ったりして学びを深められるようにする。読書については、授業の中で「ビブリオバトル」やブックトークを行い、読書への意欲を高めるようにする。

学習の習慣化については、宿題だけに取り組ませるのではなく、読書も含めて自主的な学習を行い、主体的な家庭学習を推進する。習慣化させる。